

# YOSHU CHIKANOBU

The Ukiyo-e Artist of the Meiji Era

## 周楊 延洲

ようしゅうちかのぶ

明治を描き尽くした浮世絵師

2023

10.7 sat — 12.10 sun

【展示替えがあります】

前期：10月7日(土)～11月5日(日)  
後期：11月8日(水)～12月10日(日)

【休館日】月曜日

\*ただし10月9日(月・祝)は開館し、10月10日(火)は休館  
\*11月7日(火)は展示替えのため企画展示室のみ閉室

【開館時間】

平日 午前10時～午後5時  
土日祝 午前10時～午後5時30分  
\*入場は閉館30分前まで

【観覧料】

一般900(700)円、高校・大学生450(350)円、  
中学生以下は無料

\*()内は20名以上の団体料金 \*身体障がい者手帳、  
愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳を  
お持ちの方と付き添いの方1名は半額 \*展覧会初日(10  
月7日)、文化の日(11月3日)は入場無料 \*シルバーデ  
ー(第4水曜日：10月25日、11月22日)は65歳以上の方は  
入場無料 \*各種割引を実施：リピーター割引、着物割  
引、ウェブクーポン割引ほか(詳細は当館HPに掲載)

【主催】町田市立国際版画美術館  
【助成】芸術文化振興基金

武士から絵師へ——  
絵筆で時代を切り拓く！



# 周延から明治がみえる—

楊洲周延(ようしゅうちかのぶ・1838-1912)は、幕末から明治末にかけて活躍した浮世絵師です。天保9年(1838)、高田藩(現・新潟県上越市)江戸詰の藩士の嫡男として誕生した周延は、若き日より歌川国芳や三代歌川豊国、豊原国周ら歌川派の絵師に師事し、画技を身につけました。

しかし幕末の戊辰戦争では、江戸の高田藩士で結成された神木隊士として上野戦争に参戦。榎本武揚(えのもとたけあき)ら率いる旧幕府軍に加わり箱館戦争を戦うなど激動のときを過ごします。その後、本格的に絵師としての活動を開始したのは40歳となる明治10年(1877)頃からでした。

刀を絵筆に持ち替えた周延は、優美な美人画から躍動感ある役者絵、戦争絵、歴史画、時事画題まで、まさに「明治」という時代を描き尽くします。さらに江戸時代を懐古する風潮のもと、かつては描くことができなかった江戸城や大奥といった画題にも取り組みました。

浮世絵好きの方であれば、一度はその作品を観たことがあるでしょう。歴史の教科書や資料集でなにげなく目している方もいるかもしれません。周延の作品は現代に生きるわたしたちの「明治」イメージに、いまなお鮮烈な彩りを添えています。

本展では約300点の錦絵、版本、肉筆画を通し、その全体像に迫ります。文明開化と江戸懐古のはざまに変化する時代の空気や、人びとの息づかいを感じていただく機会となれば幸いです。

## 周延? とは



### ① 若き日には高田藩士として戊辰戦争を戦う

旧幕府軍に加わり土方歳三のもとで箱館戦争に参戦するなど、激動のときを過ごした異色の絵師です

### ② 描いた浮世絵は約2,000点!

大正元年(1912)に亡くなるまで明治を生き抜き、描き尽くしました

### ③ 得意としたのは華やかな美人画

明治26年(1893)のシカゴ・コロムビア万博にも出品した、国民的な浮世絵師でした

#### その姿は…

“美人錦絵の柔軟性に似合わぬ武士気質の恐い顔の親爺さん”(山中古洞『挿絵節用』1941年)とも。

高田藩士時代の周延(楊洲周延「長州征討行軍圖」(部分)、柳原家所蔵・公益財団法人旧高田藩和親会管理)



## 関連イベント

※詳細や申し込み方法は、当館ホームページをご覧ください。

講演会①「楊洲周延—江戸と明治の架け橋—」(ゆうゆう版画美術館まつり関連イベント)  
10月22日(日) 講師：村瀬可奈(東京国立博物館研究員・元町田市立国際版画美術館学芸員)

講演会②「周延と明治の浮世絵」※手話通訳付き  
12月3日(日) 講師：久久保純一(当館館長)  
各日午後2時~3時30分 講堂にて 先着100名 要本展観覧券(半券可)

赤ちゃんのための鑑賞会  
11月15日(水) 午前10時30分~11時30分  
講師：富田めぐみ氏(NPO法人赤ちゃんのためのアートフレンドシップ協会代表理事)  
未就学児対象(保護者同伴) 事前申込制(先着10組)  
参加無料(ただし保護者の方は当日有効観覧券をご用意ください)

担当学芸員によるギャラリートーク  
10月28日(土)、11月25日(土) 各日午後2時(45分程度) 企画展示室にて 要当日有効観覧券  
担当：宮崎黎(当館学芸員)

プロムナード・コンサート「フルートとピアノで巡る明治の風景」  
11月4日(土) 午後1時、午後3時(各回30分程度) 演者：河野彬(フルート)、高橋ドレミ(ピアノ)  
エントランスホールにて 参加無料 申込不要

10月21日(土)、22日(日)は、第25回ゆうゆう版画美術館まつりを開催!

同時開催 特展展示「腐蝕の刻—エッチングの世界」 2023年9月27日(日)~12月17日(日)  
常設展示室 入場無料

## 町田市立国際版画美術館

MACHIDA CITY MUSEUM OF GRAPHIC ARTS

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 TEL 042-726-2771  
http://hanga-museum.jp/  
お問い合わせ 町田市役所代表電話 042-722-3111



土日祝、シルバーデーは町田駅から無料シャトルバスを運行。詳しくは当館HPをご覧ください。



①「浮世風俗当世振 看護婦」明治38年(1905)、千葉市美術館蔵  
②「流鎧馬之図」明治43年(1910)、紙本金地着色、上越市立歴史博物館蔵  
③「浅草公園遊覧之図」明治24年(1881)、町田市立国際版画美術館蔵  
④「東錦屋夜鏡 鶴鶴草履不合尊」明治19年(1886)、国立歴史民俗博物館蔵  
⑤「江戸婦女」明治26年(1893)、絹本着色、東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives  
⑥「城山大進撃西郷決戦之図」明治10年(1877)、Kazuko Collection蔵



小田急線・JR横須線町田駅より徒歩15分